

1)-4 地すべり防止工（山腹水路工）

1. 適用範囲

本資料は地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設の水路工に適用する。各工種における適用範囲は以下のとおりとする。

1-1 山腹集水路・排水路工，山腹明暗渠工，山腹暗渠工

(1) 機械据付

プレキャストU型側溝の製品質量 100kg/個を超え 450kg/個以下に適用する。

(2) 人力据付

プレキャストU型側溝，コルゲートフリューム，暗渠管の製品質量 100kg/個以下に適用する。

1-2 集水枳工

(1) 集水枳設置

内空積 1m³/基以下の現場打ち集水枳の設置に適用する。

(2) プレキャスト集水枳据付

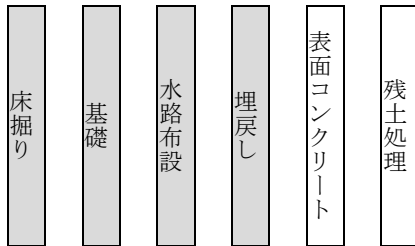
プレキャスト集水枳の製品質量 150kg/個を超え 1,700kg/個以下の機械据付に適用する。

2. 施工概要

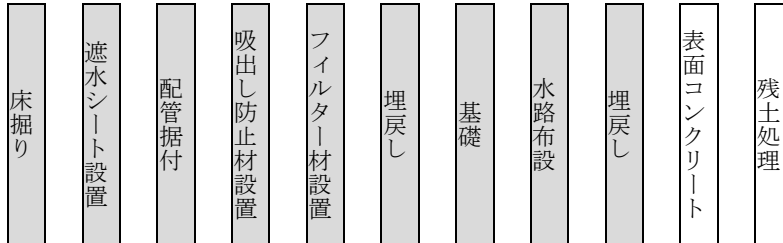
施工フローは下記を標準とする。

図 2-1 施工フロー

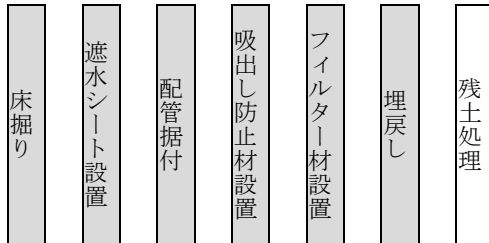
1)山腹集水路・排水路



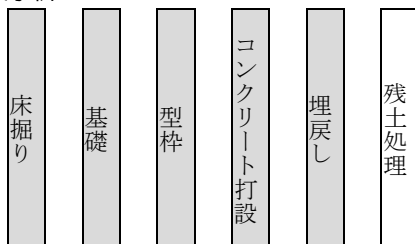
2)山腹明暗渠



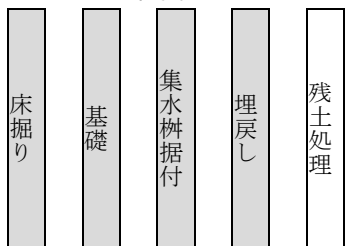
3)山腹暗渠



4)集水枳



5)プレキャスト集水桝



(注) 本歩掛に対応しているのは、着色部分のみである。

3. 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表 3.1 機種の選定

| 作業種別 | 機械名 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---------|--------|---|----|----|----------|
| 掘削及び据付け | バックホウ | 排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）吊能力 1.7t | 台 | 1 | |
| 資材運搬 | 不整地運搬車 | 排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式 2.5t 積 | 〃 | 1 | 必要に応じて計上 |

4. 編成人員

山腹水路工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4.1 日当り編成人員

(人)

| 工種 | 世話役 | 特殊作業員 | 普通作業員 |
|-------------------------------|-----|-------|-------|
| 山腹集水路・排水路工 山腹明暗渠工 山腹暗渠工 | 1 | 1 | 2 |

5. 施工歩掛

5-1 山腹集水路・排水路工

5-1-1 山腹U型側溝（機械据付）歩掛

(1) 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 5.1 日当り施工量 (m/日)

| | | |
|-------------------------|----------------------|---------------------------------|
| 掘削断面積 (m ²) | 0.5m ² 以下 | 0.5 を超え 1.0m ² 以下 |
| 日当り施工量 | 14.7 | 10.4 |

(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合は、不整地運搬車を計上する。

2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。

3. 表面コンクリートの打設は、「第II編第4章コンクリート工1)コンクリート工」による。

(2) 諸雑費

諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.2 諸雑費率 (%)

| | |
|------|-----|
| 諸雑費率 | 0.4 |
|------|-----|

5-1-2 山腹U型側溝（人力据付）歩掛

(1) 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 5.3 日当り施工量 (m/日)

| | | |
|-------------------------|----------------------|---------------------------------|
| 掘削断面積 (m ²) | 0.5m ² 以下 | 0.5 を超え 1.0m ² 以下 |
| 日当り施工量 | 15.1 | 13.3 |

- (注) 1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合は、不整地運搬車を計上する。
2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。
3. 表面コンクリートの打設は、「第Ⅱ編第 4 章コンクリート工 1)コンクリート工」による。

(2) 諸雑費

諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.4 諸雑費率 (%)

| | |
|------|-----|
| 諸雑費率 | 0.4 |
|------|-----|

5-1-3 山腹コルゲートフリューム据付歩掛

(1) 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 5.5 日当り施工量 (m/日)

| | | | |
|-------------------------|----------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 掘削断面積 (m ²) | 0.5m ² 以下 | 0.5 を超え 1.0m ² 以下 | 1.0 を超え 2.0m ² 以下 |
| 日当り施工量 | 24.3 | 19.1 | 14.1 |

- (注) 1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合は、不整地運搬車を計上する。
2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。
3. ポリエチレン製角型 U 字溝据付の場合も本歩掛を適用出来る。
4. 表面コンクリートの打設は、「第Ⅱ編第 4 章コンクリート工 1)コンクリート工」による。

(2) 諸雑費

諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.6 諸雑費率 (%)

| | |
|------|-----|
| 諸雑費率 | 0.3 |
|------|-----|

5-2 山腹明暗渠工

5-2-1 山腹U型側溝明暗渠（機械据付）歩掛

(1) 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 5.7 日当り施工量 (m/日)

| 掘削断面積 (m ²) | 0.5m ² 以下 | 0.5 を超え 1.0m ² 以下 | 1.0 を超え 2.0m ² 以下 | 2.0 を超え 3.0m ² 以下 | 3.0 を超え 4.0m ² 以下 |
|-------------------------|----------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 日当り施工量 | 12.4 | 9.4 | 7.0 | 5.2 | 4.1 |

- (注) 1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合は、不整地運搬車を計上する。
2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。
3. 表面コンクリートの打設は、「第Ⅱ編第 4 章コンクリート工 1)コンクリート工」による。

(2) 諸雑費

諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.8 諸雑費率 (%)

| | |
|------|---|
| 諸雑費率 | 4 |
|------|---|

(注) 遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。

5-2-2 山腹U型側溝明暗渠（人力据付）歩掛

(1) 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 5.9 日当り施工量 (m/日)

| 掘削断面積 (m ²) | 0.5m ² 以下 | 0.5 を超え 1.0m ² 以下 | 1.0 を超え 2.0m ² 以下 | 2.0 を超え 3.0m ² 以下 | 3.0 を超え 4.0m ² 以下 |
|-------------------------|----------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 日当り施工量 | 12.5 | 11.0 | 9.4 | 7.6 | 5.9 |

- (注) 1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合は、不整地運搬車を計上する。
2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。
3. 表面コンクリートの打設は、「第Ⅱ編第 4 章コンクリート工 1)コンクリート工」による。

(2) 諸雑費

諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.10 諸雑費率 (%)

| | |
|------|---|
| 諸雑費率 | 4 |
|------|---|

(注) 遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。

5-2-3 山腹コルゲートフリューム明暗渠据付歩掛

(1) 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 5.11 日当り施工量 (m/日)

| 掘削断面積 (m ²) | 0.5m ² 以下 | 0.5 を超え 1.0m ² 以下 | 1.0 を超え 2.0m ² 以下 | 2.0 を超え 3.0m ² 以下 | 3.0 を超え 4.0m ² 以下 |
|-------------------------|----------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 日当り施工量 | 20.0 | 17.3 | 12.4 | 8.8 | 6.8 |

- (注) 1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合は、不整地運搬車を計上する。
 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。
 3. ポリエチレン製角型 U 字溝据付の場合も本歩掛を適用出来る。
 4. 表面コンクリートの打設は、「第 II 編第 4 章コンクリート工 1)コンクリート工」による。

(2) 諸雑費

諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.12 諸雑费率 (%)

| | |
|------|---|
| 諸雑费率 | 6 |
|------|---|

(注) 遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。

5-3 山腹暗渠工

5-3-1 山腹暗渠据付歩掛

(1) 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 5.13 日当り施工量 (m/日)

| 掘削断面積 (m ²) | 0.5m ² 以下 | 0.5 を超え 1.0m ² 以下 | 1.0 を超え 2.0m ² 以下 | 2.0 を超え 3.0m ² 以下 | 3.0 を超え 4.0m ² 以下 |
|-------------------------|----------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 日当り施工量 | 23.9 | 19.6 | 15.5 | 12.1 | 9.9 |

- (注) 1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合は、不整地運搬車を計上する。
 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。

(2) 諸雑費

諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5.14 諸雑费率 (%)

| | |
|------|---|
| 諸雑费率 | 6 |
|------|---|

(注) 遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。

5-4 集水樹工

5-4-1 集水樹設置歩掛

集水樹設置の歩掛は、次表を標準とする。

表 5.15 集水樹設置歩掛 (1基当り)

| 内空積 | | | 0.4m ³ 以下 | 0.4を超え 0.8m ³ 以下 | 0.8を超え 1.0m ³ 以下 | 摘要 |
|--------------|---|----|----------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------|
| 名称 | 規格 | 単位 | | | | |
| 世話役 | | 人 | 0.7 | 0.8 | 1.0 | |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.5 | 0.6 | 0.7 | |
| 普通作業員 | | 〃 | 1.0 | 1.2 | 1.4 | |
| 型枠工 | | 〃 | 0.2 | 0.3 | 0.4 | |
| バックホウ 運転 | 排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ） 吊能力 1.7t | h | 3.4 | 4.2 | 4.8 | |
| 不整地運搬 車運転 | 排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式 2.5t 積 | 日 | 0.1 | | | 必要に応じて 計上（注）1 |
| 諸雑費率 | | % | 7 | | | |

（注）1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合、不整地運搬車を計上する。

2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、型枠、コンクリート打設、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。

3. 諸雑費は、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材及び電気ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上（下）げ機械、締固め機械に要する費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。

5. 不整地運搬車は賃料とする。

6. 養生工が必要な場合は別途計上する。

5-4-2 プレキャスト集水樹据付歩掛

プレキャスト集水樹据付の歩掛は、次表を標準とする。

表 5.16 集水樹据付歩掛 (1基当り)

| 集水樹製品質量 | | | 150を超え 500kg以下 | 500を超え 1,000kg以下 | 1,000を超え 1,500kg以下 | 1,500を超え 1,700kg以下 | 摘要 |
|--------------|---|----|-------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|----|
| 名称 | 規格 | 単位 | | | | | |
| 世話役 | | 人 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.4 | |
| 普通作業員 | | 〃 | 0.5 | 0.5 | 0.6 | 0.6 | |
| バックホウ 運転 | 排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ） 吊能力 1.7t | h | 2.2 | 2.7 | 3.2 | 3.5 | |
| 不整地運搬 車運転 | 排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式 2.5t 積 | 日 | 0.1 | | | 必要に応じて 計上（注）1 | |
| 諸雑費率 | | % | 0.5 | | | | |

（注）1. 歩掛は、平均運搬距離 50m 以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 50m を超え 200m 以下の場合、不整地運搬車を計上する。

2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。

3. 諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。

5. 不整地運搬車は賃料とする。

6. 材料使用量

6-1 遮水シート，吸出し防止材使用量

遮水シート，吸出し防止材使用量は，次式による。

$$\text{使用量 (m2)} = \text{設計量 (m2)} \times (1+K) \dots \text{式 6.1}$$

表 6.1 ロス率 (K)

| | | |
|-----|-------|--------|
| 材料名 | 遮水シート | 吸出し防止材 |
| ロス率 | +0.10 | +0.10 |

6-2 砕石使用量

埋戻し，基礎，フィルター材等に使用する砕石の使用量は，次式による。

$$\text{使用量 (m3)} = \text{設計量 (m3)} \times (1+K) \dots \text{式 6.2}$$

表 6.2 ロス率 (K)

| | |
|-----|-------|
| 材料名 | 砕石 |
| ロス率 | +0.20 |

6-3 コンクリート

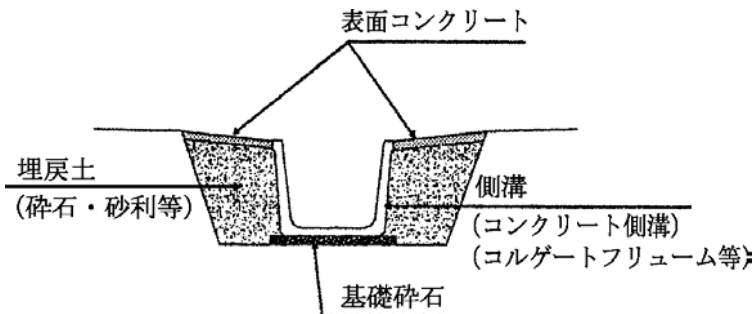
集水桝等に使用するコンクリート使用量のロス率は，「第Ⅱ編第 4 章 1) コンクリート工」による。なお，構造物の種別区分は無筋構造物とする。

6-4 暗渠管

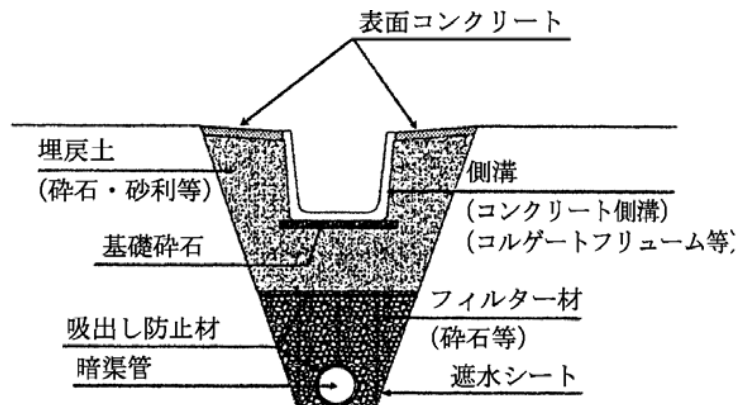
暗渠管（塩化ビニール製又はポリエチレン製）使用量のロス率は，「第Ⅱ編第 2 章 10)-1 排水構造物工」による。

7. 地すべり防止工（山腹水路工）構造概念図

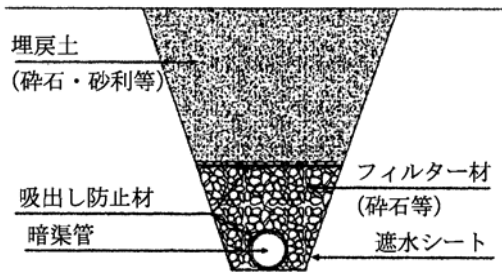
7-1 山腹集排水路



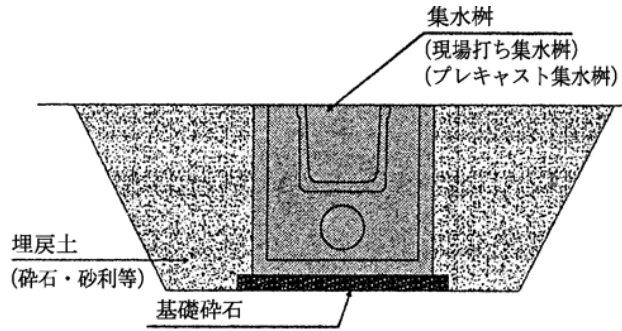
7-2 山腹明暗渠



7-3 山腹暗渠



7-4 集水樹



8. 単価表

(1) 山腹 U 型側溝 10m 当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|----------|--|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 世話役 | | 人 | 1×10/D | 表 4. 1, 表 5. 1, 表 5. 3 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 2×10/D | 〃 |
| U 型側溝 | | 個 | 16. 5 9. 95 4. 99 | L=600 L=1, 000 L=2, 000 |
| 碎石 | | m ³ | | 式 6. 2, 表 6. 2 |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0. 28m ³ (平積 0. 2m ³) 吊能力 1. 7t | 日 | 1×10/D | |
| 不整地運搬車運転 | 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型・ダンプ式 2. 5t 積 | 〃 | 1×10/D | 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5. 2, 表 5. 4 |
| 計 | | | | |

(注) D : 日当り施工量 (m/日)

(2) 山腹コルゲートフリューム据付 10m 当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|----------------------------------|---|----------------|--------|--------------|
| 世話役 | | 人 | 1×10/D | 表 4.1, 表 5.5 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 2×10/D | 〃 |
| コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型 U字溝) | | m | 10 | |
| 砕石 | | m ³ | | 式 6.2, 表 6.2 |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t | 日 | 1×10/D | |
| 不整地運搬車運転 | 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t 積 | 〃 | 1×10/D | 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5.6 |
| 計 | | | | |

(注) D: 日当り施工量 (m/日)

(3) 山腹 U 型側溝明暗渠 10m 当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|----------|---|----------------|----------------------|-----------------------------|
| 世話役 | | 人 | 1×10/D | 表 4.1, 表 5.7, 表 5.9 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 2×10/D | 〃 |
| U 型側溝 | | 個 | 16.5 9.95 4.99 | L=600 L=1,000 L=2,000 |
| 暗渠管 | 塩ビ・ポリエチレン製 | m | 10.1 | 10m ×設計量×(1+ロス率) |
| 砕石 | | m ³ | | 式 6.2, 表 6.2 |
| 遮水シート | | m ² | | 式 6.1, 表 6.1 |
| 吸出し防止材 | | 〃 | | 〃 |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t | 日 | 1×10/D | |
| 不整地運搬車運転 | 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t 積 | 〃 | 1×10/D | 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5.8, 5.10 |
| 計 | | | | |

(注) D: 日当り施工量 (m/日)

(4) 山腹コルゲートフリューム明暗渠据付 10m 当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|----------------------------------|---|----------------|--------|-----------------|
| 世話役 | | 人 | 1×10/D | 表 4. 1, 表 5. 11 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 2×10/D | 〃 |
| コルゲートフリューム (ポリエチレン製角型 U字溝) | | m | 10 | |
| 暗渠管 | 塩ビ・ ポリエチレン製 | 〃 | 10. 1 | 10m×設計量×(1+ロス率) |
| 碎石 | | m ³ | | 式 6. 2, 表 6. 2 |
| 遮水シート | | m ² | | 式 6. 1, 表 6. 1 |
| 吸出し防止材 | | 〃 | | 〃 |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0. 28m ³ (平積 0. 2m ³) 吊能力 1. 7t | 日 | 1×10/D | |
| 不整地運搬車運転 | 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2. 5t 積 | 〃 | 1×10/D | 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5. 12 |
| 計 | | | | |

(注) D: 日当り施工量 (m/日)

(5) 山腹暗渠据付 10m 当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|----------|---|----------------|--------|-----------------|
| 世話役 | | 人 | 1×10/D | 表 4. 1, 表 5. 13 |
| 特殊作業員 | | 〃 | 1×10/D | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 2×10/D | 〃 |
| 暗渠管 | 塩ビ・ポリエチレン製 | m | 10. 1 | 10m×設計量×(1+ロス率) |
| 碎石 | | m ³ | | 式 6. 2, 表 6. 2 |
| 遮水シート | | m ² | | 式 6. 1, 表 6. 1 |
| 吸出し防止材 | | 〃 | | 〃 |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0. 28m ³ (平積 0. 2m ³) 吊能力 1. 7t | 日 | 1×10/D | |
| 不整地運搬車運転 | 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2. 5t 積 | 〃 | 1×10/D | 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5. 14 |
| 計 | | | | |

(注) D: 日当り施工量 (m/日)

(6) 集水桝設置 1 基当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|----------|--|----|----|--------------|
| 世話役 | | 人 | | 表 5.15 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 型枠工 | | 〃 | | 〃 |
| コンクリート | | m3 | | 設計量×(1+ロス率) |
| 砕石 | | 〃 | | 式 6.2, 表 6.2 |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m3(平積 0.2m3) 吊能力 1.7t | h | | 表 5.15 |
| 不整地運搬車運転 | 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t 積 | 日 | | 〃 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5.15 |
| 計 | | | | |

(7) プレキャスト集水桝据付 1 基当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|----------|--|----|----|--------------|
| 世話役 | | 人 | | 表 5.16 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 集水桝 | | 個 | 1 | |
| 砕石 | | m3 | | 式 6.2, 表 6.2 |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m3(平積 0.2m3) 吊能力 1.7t | h | | 表 5.16 |
| 不整地運搬車運転 | 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t 積 | 日 | | 〃 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 表 5.16 |
| 計 | | | | |

(8) 機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|--|--|-------|---|
| バックホウ (集水桝工) | 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m3(平積 0.2m3) 吊能力 1.7t | 機-1 | |
| バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工) | 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積 0.28m3(平積 0.2m3) 吊能力 1.7t | 機-18 | 運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →45 機械損料数量 →1.56 |
| 不整地運搬車 | 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式 2.5t 積 | 機-28 | 運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →12 賃料数量 →1.66 |

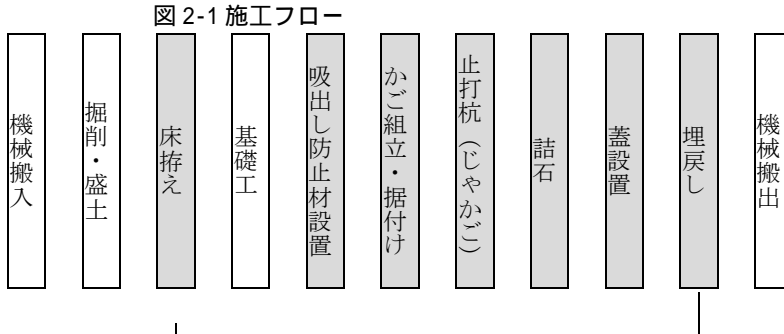
1)-5 地すべり防止工（かご工）

1. 適用範囲

本資料は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設におけるじゃかご（径 45～60cm）及びふとんかご（階段式、パネル式、高さ 40～100cm、幅 120～200cm）の施工に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



（注）本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。吸出し防止材は、ふとんかごのみとする。

3. 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表 3.1 機種の選定

| 機械名 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|--------|--|----|----|----------|
| バックホウ | 排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型山積 0.5m ³ （平積 0.4m ³ ） | 台 | 1 | |
| 不整地運搬車 | クローラ型・ダンプ式 2t 積 | 〃 | 1 | 必要に応じて計上 |

4. 施工歩掛

4-1 じゃかご

じゃかご施工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.1 じゃかご施工歩掛 (10m 当り)

| じゃかご規格 | | 径 (cm) | 45 | 60 | 摘要 |
|--------------|---|----------------|------|------|-----------------|
| 名称 | 規格 | 単位 | | | |
| 詰石 | | m ³ | 1.5 | 2.7 | |
| 世話役 | | 人 | 0.2 | 0.3 | |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.7 | 1.3 | |
| 普通作業員 | | 〃 | 0.7 | 1.2 | |
| バックホウ 運転 | 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型山積 0.5m ³ (平積 0.4m ³) | h | 0.2 | 0.4 | |
| 不整地運搬 車運転 | クローラ型・ダンプ式 2t 積 | 日 | 0.06 | 0.10 | 必要に応じて計上 (注) 1. |

- (注) 1. 本歩掛は、組立・据付け・詰石及び平均運搬距離 30m までの現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 30m を超え 200m 以下の場合、不整地運搬車を計上する。
2. 詰石量は、式 4.1 にて補正済の数量である。
3. 本歩掛は、床拵え・埋戻しを含む。
4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。
5. 止杭を必要とする場合、打込みに止杭 1 本当たり普通作業員 0.06 人を別途計上する。なお、止杭は松丸太末口 9cm、長さ 1.5m を標準とする。
6. 吸出し防止材が必要な場合は、別途計上する。なお、本歩掛に吸出し防止材の設置手間は含まれていない。
7. 不整地運搬車は、賃料とする。
8. じゃかごの撤去歩掛は、上表の 50%とする。

4-2 ふとんかご

ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.2 ふとんかご施工歩掛 (10m 当り)

| ふとんかご規格 | | 高 (cm) | 40 | | 50 | | 60 | | 100 | | 摘要 |
|--------------|---|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|-----------------|
| 名称 | 規格 | 幅 (cm) | 120 | | 200 | | 120 | | 200 | | |
| | | 単位 | | | | | | | | | |
| 詰石 | | m ³ | 4.6 | 5.7 | 9.5 | 6.8 | 11 | 19 | | | |
| 世話役 | | 人 | 0.6 | 0.7 | 1.1 | 0.8 | 1.3 | 2.3 | | | |
| 特殊作業員 | | 〃 | 0.6 | 0.8 | 1.3 | 0.9 | 1.5 | 2.6 | | | |
| 普通作業員 | | 〃 | 1.7 | 2.1 | 3.5 | 2.5 | 4.1 | 7.0 | | | |
| バックホウ 運転 | 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型山積 0.5m ³ (平積 0.4m ³) | h | 2.3 | 2.9 | 4.8 | 3.4 | 5.5 | 9.6 | | | |
| 不整地運搬 車運転 | クローラ型・ダンプ式 2t 積 | 日 | 0.3 | 0.4 | 0.6 | 0.5 | 0.7 | 1.3 | | | 必要に応じて計上 (注) 1. |

- (注) 1. 本歩掛は、床拵え、吸出し防止材設置、かご組立・据付け・詰石、埋戻し及び平均運搬距離 30m までの現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が 30m を超え 200m 以下の場合、不整地運搬車を計上する。
2. 本歩掛は、階段式にのみ適用し、スロープ式には適用しない。
3. 詰石量は、式 4.1 にて補正済の数量である。
4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。
5. 吸出し防止材の設置の有無にかかわらず上表を適用することが出来る。ただし設置する場合は、材料を別途計上すること。なお、吸出し防止材は厚さ 10mm を標準とする。
6. 不整地運搬車は、賃料とする。
7. ふとんかごの撤去歩掛は、上表の 50%とする。

4-3 材料使用量

詰石材, 吸出し防止材の使用量は, 次式による。

$$\text{詰石材の使用量 (m3)} = \text{かご容積 (m3)} \times (1+K) \cdots\text{式 4.1}$$

K : ロス率

$$\text{吸出し防止材の使用量 (m2)} = \text{設計量 (m2)} \times (1+K) \cdots\text{式 4.2}$$

K : ロス率

表 4.3 ロス率 (K)

| | | |
|-----|-------|--------|
| 名称 | 詰石材 | 吸出し防止材 |
| ロス率 | -0.05 | +0.07 |

5. 単価表

(1) じゃ (ふとん) かご 10m 当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|-----------------|--|----|----|----------------------|
| 世話役 | | 人 | | 表 4.1, 又は表 4.2 |
| 特殊作業員 | | 〃 | | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | | 〃 |
| じゃかご (ふとんかご) | | m | 10 | ふとんかごは, パネル式とする |
| 詰石 | | m3 | | 表 4.1 又は表 4.2, 式 4.1 |
| 吸出し防止材 | t=10mm | m2 | | 必要に応じて計上表 4.2, 式 4.2 |
| 止杭 | | 本 | | 必要に応じて計上(2)単価表 |
| バックホウ運転 | 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型山積 0.5m3 (平積 0.4m3) | h | | 表 4.1 又は表 4.2 |
| 不整地運搬車運転 | クローラ型・ダンプ式 2t 積 | 日 | | 〃 必要に応じて計上 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

(2) 止杭 10 本当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|-------|------------------|----|-----|-------------|
| 普通作業員 | | 人 | 0.6 | 表 4.1 (注) 5 |
| 止杭 | 松丸太長 1.5m 末口 9cm | 本 | 10 | |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | |
| 計 | | | | |

(3) 機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|--------|--|-------|--|
| バックホウ | 排出ガス対策型 (第 1 次基準値) クローラ型山積 0.5m3 (平積 0.4m3) | 機-1 | |
| 不整地運搬車 | クローラ型・ダンプ式 2t 積 | 機-28 | 運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →8.4 賃料数量 →1.71 |

1)-6 集排水ボーリング孔洗浄工

1. 適用範囲

本資料は、地すべり防止施設における横ボーリング孔及び集水井内での集排水ボーリング孔（φ30mm～φ150mm、延長130m以下/本）の高圧ポンプによる洗浄工に適用する。

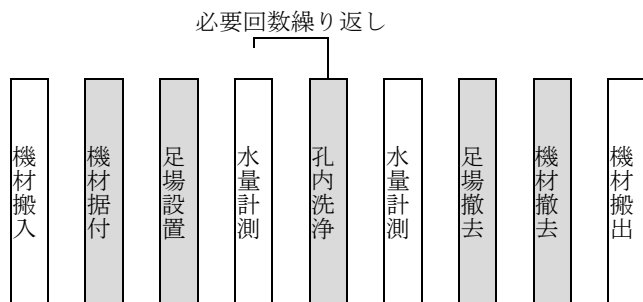
なお、洗浄工程数については、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までに適用する。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

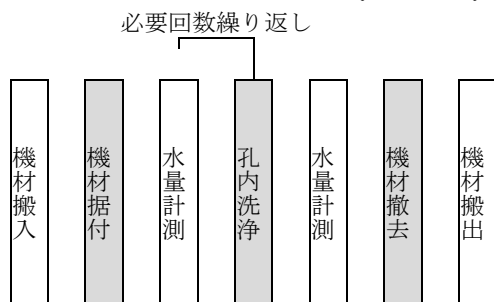
2-1 井内作業

図 2-1 施工フロー（井内作業）



2-2 井外作業

図 2-2 施工フロー（井外作業）



(注) 本歩掛で対応しているのは、着色部分のみである。

3. 機種の選定

洗浄作業における機械等の機械・規格は、次表を標準とする。

表 3.1 機種の選定

| 機械名 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|----------|------------------------------------|----|----|-------------|
| 工事用高圧洗浄機 | エンジン駆動吐出量 35～70L/min 圧力 14.7MPa | 台 | 1 | ノズル、高圧ホース含む |

4. 施工歩掛

洗浄工の施工歩掛は、次表とする。

表 4.1 洗浄工歩掛

| 日当り作業量 (m/日) | 編成人員 (人) | | 使用機械 | | 諸雑費率 (%) |
|-----------------|----------|-----|----------|----|-------------|
| D=220 | 土木一般世話役 | 1.0 | 工事用高圧洗浄機 | 1台 | 2 |
| | 特殊作業員 | 2.0 | | | |
| | 普通作業員 | 1.0 | | | |

(注) 諸雑費は、水中ポンプ賃料、ファン（軸流式）の損料、水槽の損料、電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5. 集水井内足場工

5-1 適用範囲

井内作業における集水井内足場の設置・撤去に適用する。また、本歩掛は足場設置高さに関係なく適用出来る。

5-2 施工歩掛

井内作業における集水井内足場の設置・撤去歩掛は、次表のとおりとする。なお、本歩掛で対応しているのは、5-3 [参考図] 集水井内足場概念図に示す足場工である。

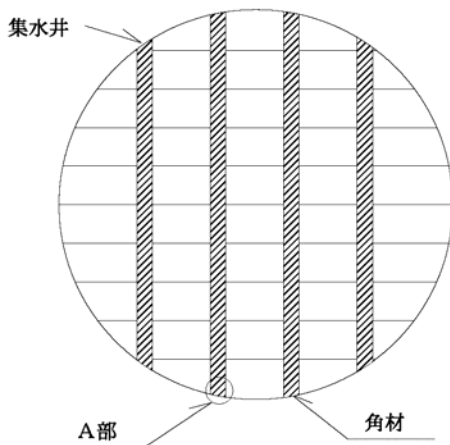
表 5.1 集水井内足場設置・撤去歩掛 (1 回当たり)

| 名称 | 単位 | 数量 |
|---------|----|-----|
| 土木一般世話役 | 人 | 0.4 |
| とび工 | 〃 | 0.7 |
| 普通作業員 | 〃 | 0.5 |
| 諸雑費率 | % | 7 |

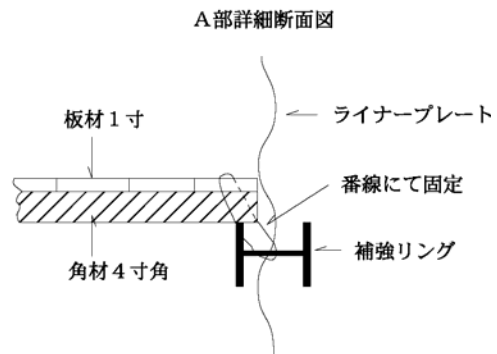
(注) 諸雑費は、ファン(軸流式)損料・足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5-3 [参考図] 集水井内足場概念図

平面図



詳細図



6. 単価表

(1) 洗浄工 10m 当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|------------|------------------------------------|----|------------|-------|
| 土木一般世話役 | | 人 | (10/D) × 1 | 表 4.1 |
| 特殊作業員 | | 〃 | (10/D) × 2 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | (10/D) × 1 | 〃 |
| 工事用高圧洗浄機運転 | エンジン駆動吐出量 35~70L/min 圧力 14.7MPa | 日 | (10/D) × 1 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

(注) D: 日当り施工量 (表 4.1)

(2) 集水井内足場設置・撤去 1 回当り単価表

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|---------|----|----|-----|-------|
| 土木一般世話役 | | 人 | 0.4 | 表 5.1 |
| とび工 | | 〃 | 0.7 | 〃 |
| 普通作業員 | | 〃 | 0.5 | 〃 |
| 諸雑費 | | 式 | 1 | 〃 |
| 計 | | | | |

(3) 機械運転単価表

| 機械名 | 規格 | 適用単価表 | 指定事項 |
|----------|------------------------------------|-------|---------------------------|
| 工事用高圧洗浄機 | エンジン駆動吐出量 35~70L/min 圧力 14.7MPa | 機-24 | 燃料消費量 →28 機械損料数量 →1.61 |